



屋良っ子だより

8・9月号
嘉手納町立屋良小学校
発行者 校長 島袋 伸

学校教育目標：「一人一人がかがやく 屋良っ子」

令和6年8月23日（金）

生活目標	保健目標	人権テーマ
◎生活リズムを守ろう（8月） ○責任を果たそう（9月）	◎夏を健康にすごそう（8月） ○生活リズムをととのえよう	◎みんな元気かな（8月） ○お年寄りを大切にしよう（9月）

一学期後半がスタートしました

長い夏休みが終わりました。今年も、久しぶりに通常の夏休みになりました。登校してきた子ども達は、長い夏休みを有意義に過ごしたことで、みんな満足そうな笑顔をしていました。夏休みは静かだった校舎も元気な子ども達が戻って来て、大変にぎやかになりました。

さあ、1学期後半がスタートしました。1学期後半の9月は一学期のまとめの時期になります。そのため子ども達には、規則正しい生活リズムを早めに取り戻して充実した学校生活を送らせたいものです。

ところで、今年は地球温暖化の影響か、例年になく暑い日が続いています。登下校中の熱中症対策をはじめ、運動場での体育や水泳の授業、そして運動会の練習では運動前に水分を補給したり適切な休憩をとらせたりしながら、しっかりと児童の安全対策を講じて「安心で安全」な学校生活を守っていきたいと思います。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

平和祈願祭

8月15日（木）に、招魂之塔で嘉手納町の平和祈願祭が行われました。本校では、6年生の児童5名が『「当たり前」とは』の詩の朗読を行いました。

6年 川満乃愛さん 宮城璃愛さん 沢岨いろりさん 比嘉夏楓さん 儀間奈里さんで作った詩です。

願いとほ小さなこと
 水が飲みたい
 ご飯が食べたい
 温かいところで寝たい
 そんな小さな願いも叶えることができない
 そんな中必死に生きてくれた人がいた
 そんな人たちのおかげで今がある
 私たちが生きる世界
 それは平和な世界
 その世界をつくらせてくれたのは
 戦争を体験して生き延びてくれた人々
 私たちが生きていくのは当たり前じゃない
 当たり前じゃないということを伝えたい
 みんなで助け合って生きていこう
 この当たり前ではない
 平和で幸せな世界を
 これからも作っていこう
 みんなで
 世界で

私達のために戦ってくれている兵隊さん
 そして家族や兄弟
 壕の中は真っ暗
 満足に食べることも飲むこともできない
 次々に亡くなっていく人々
 同級生や友達
 多くの人が家族を奪われた
 悲しい
 怖しい
 生と死が混ざる
 なぜ戦争は起こるのか
 なぜ戦争は起るのか
 集団自決
 爆撃
 戦争
 灰色の空
 黒い海
 なぜ、市民まで巻き込まれないといけないのか



当たり前とは 8月15日

地域のエイサーで活躍

小学生のエイサー隊として、夏休みに練習をし、旧盆には道ジュネーを行いました。運動会でのエイサーも迫力有る演技が楽しみです。



大型扇風機の寄贈がありました

熱中症対策として、「有限会社 協生産業」さんから嘉手納町内の学校に大型扇風機の寄贈がありました。本校にも2台の寄贈がありました。ありがとうございます。



図書券の寄贈がありました

嘉手納町の退職校長会の皆様から屋良小学校の子ども達に役立てて下さいとのことで図書券をいただきました。本校の教育活動に活用させていただきます。ありがとうございました。

